

週休三日制の導入

事業所概要

- ・事業所名：特別養護老人ホーム 天美苑
- ・サービス種別：老人福祉施設（定員：80人）
- ・プロジェクトメンバーの構成：介護主任（2人）、介護副主任（3人）、生活相談員（1人）

取組に至った背景

○従来型特養(2フロア)において、日中に必要な介護職員が各5人のところ、現状の人員配置(8時間勤務/日)では、4人しか確保できないフロアがあり、当該フロアでは朝食及び夕食の時間帯に2人しか配置できない日がある。

- ・恒常的な人員不足ではなく、特定の時間帯のみ人員が不足しており、もう一方のフロアから応援で人員を補っても、逆に当該フロアの人員が不足するという「負の連鎖」に。
- ・清掃のパート職員や機能訓練指導員等も介護現場に入らざるを得ない

課題解決のプロセス

1日あたりの勤務時間数を10時間とすることにより、朝夕の時間帯に2人以上の職員を配置することで特定時間のみの人員不足の解消を図る。ただし、日中の職員数は最大5人→4人に

(シフト例)

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
夜勤 (21~8)		朝食準備	朝食															
A (7~18)		起床介助	朝食	排泄	申し送り処理	ST入浴	休憩	昼食	排泄	行事・レク・おやつ	排泄	夕食準備	夕食					
B (8~19)			朝食	排泄	入浴	水分補給	昼食準備	昼食	休憩	排泄	入浴	夕食準備	夕食	就寝ケア				
C (9~20)				排泄	入浴用意	昼食準備	昼食	休憩		入浴	夕食準備	夕食	就寝ケア					
D (11~22)						昼食準備	昼食	排泄	行事・レク・おやつ	排泄	休憩	夕食	口腔ケア・食室片付け			おむつ交換		
フロア人数	1	2	2	3	3	3	3	2	3		2	3	4	3	2	1	2	1
現在のフロア人数 (日中5人体制)	1		2		3		2	4	2	3		2		3	2	1	1	1
現在のフロア人数 (日中4人体制)	1	1		2				1	3		2		2	1		2	1	1

※取組時のポイント・工夫※

(1)他業務の改善も併せて検討

当該事業所の場合、機械浴の一部利用者をリフト浴に変更することで、日中の職員が4人に減少しても対応可能に。

(2)選択的週休三日制に

導入フロアのみならず、全職員にアンケートを実施し、プライベートや生活への影響も含めたメリット・デメリットや現状の勤務体制が週休三日制のどちらで働きたいかを聴取。

(3)一部フロアから試行的に導入

全てのフロアから導入せず、様子を見ながら段階的に実施

取組効果

【質的な効果】

- (1)勤務時間数が増加することによる体力的な疲労よりも、**複数人でケアができる安心感**により、職員の心身の負担が軽減
- (2)休日数の増加に伴い、よりフレッシュできるように

【量的な効果】

1週間当たりの勤務時間数(40時間)に変更がないため、公休日が増加
週休2日制：公休日113日 ⇒ **週休3日制：公休日163日**
約1.5倍増

同様の取組を検討している事業所へのアドバイス

- ・「朝夕の繁忙時間帯に人員を厚くすること」と、「働きやすい職場づくりの一環」を明確な目標として設定
- ・シフトパターンのシミュレーションを事前に行い、取り組みの趣旨を職員へ丁寧に説明し、「自分たちで働き方を変えていく」という意識づくりを重視。
- ・全面変更ではなく、**まずは1フロアから試行**し、問題があれば元に戻せる柔軟な姿勢で進める。